

全国障害者スポーツ大会で活躍

10月22日から24日の3日間に渡り、岩手県で第16回全国障害者スポーツ大会が開催されました。

県を代表して活躍された市内の選手の成績をお知らせします。

陸上競技

- 山中大輔さん やまなかだいすけ 100 m競走：4位 (12秒41)
走り幅跳び：2位 (5m51cm)
- 谷口瞳さん たにくちひとみ 100 m競走：2位 (14秒91)
ソフトボール投げ：1位 (53m15cm)

卓球

- 岡佑汰さん おかゆうた 1位

フライングディスク

- 木村茂一さん きむらしげかず ディスタンス部門：4位 (32m42cm)
アキュラシー部門：2位 (9枚)

この大会は、誰もが競技に参加でき、スポーツを楽しむことを目的に、性別だけでなく、障がいクラスや年齢層を考慮し、実施競技種目が決められています。

優秀な成績はもちろんですが、大会に参加することで、他県の選手との交流が生まれることも大きな魅力の一つとなっています。

問い合わせ

障がい福祉課 自立支援係 ☎65-0702 / ☎63-4085

食品ロス削減のために実践していること

～市民の皆さんに聞きました～

◆ 30代女性

買い物時は必要な分だけ買うようにしています。買い物に出かける前に、冷蔵庫の中身をチェックして食材を買いすぎないようにしています。



◆ 30代男性

子どもの食べ残した分を自分が食べて、食べ残しを出さないようにしています。外食時も子どもが食べる量を考えながら注文しています。



◆ 40代女性

食材が残ったら、別の料理に活用して、食材を使いきるようにしています。



綾野小学校1年生の給食の様子です。同校では給食を残さずに食べる取り組みを進めています。

「もったいない」の気持ち 「食品ロス」を減らしましょう

現在、食べられるのに捨てられている食品、いわゆる「食品ロス」が問題になっています。

日本の食品ロスは年間約63.2万トンにも上り、そのうち約半分が家庭から出ていると考えられています。国民1人当たり換算すると、1日お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物が捨てられていることとなります(農林水産省および環境省「平成25年度推計」)。

食品ロスについて知り、その削減のためにできることを考えてみましょう。

① 家庭における食品ロスの原因

家庭から出る食品ロスの主な原因は、「過剰除去」、「食べ残し」、「期限切れ」、「買い過ぎ」などです。

野菜の皮むきや肉の脂身の取り除きなど、食べられる部分まで多く除去していたり、作りすぎから食べ残しが発生したりすることで食べ物が廃棄されています。

食品ロスを減らすために

① 食品の「賞味期限」と「消費期限」の違いを正しく理解しましょう。

「賞味期限」…おいしく食べられる期限。それを超えてもすぐに食べられなくなるわけではありません。

例 ハム・ソーセージ、缶詰、卵、カップめんなど

「消費期限」…期限を超えたら食べないほうがいい期限。

例 弁当、サンドイッチ、ケーキ、惣菜など

② 外食の時は、注文をする際に料理のボリュームを確認したり、小盛りメニューを利用したりしましょう。

30・10運動を

年末年始にかけて宴会が多くなります。全国では、「30・10運動」という取り組みが広がっています。

これは、宴会の開始30分と終了10分前は席について料理を楽しんで食べましょうという運動です。こつこつとした取り組みなどにより、食品ロスを出さないようにしましょう。

市の取り組み

現在、国では関係団体連携のもと、「食品ロス削減国民運動」を展開しています。本市においても市内事業

所に対してこの運動についての資料を配布し、協力を依頼しています。

また、「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加しています。

今後は他の自治体の有効な取り組みを参考にさらに食品ロスの削減・啓発活動を進めていきます。

大切なのは「もったいない」の意識から

食品ロスを減らすことは、食料の多くを海外からの輸入に頼っている私

たちにとって、大切な食べ物の無駄を減らすことです。

環境面では生ごみが減り、二酸化炭素を減らすことができます。また、家計面でもプラスになります。

一人ひとりが「もったいない」を意識し、日々の生活を見直すことが食品ロス削減への第一歩です。

市民の皆さんのご協力をお願いします。

生活環境課 廃棄物対策係 ☎65-0690 / ☎63-4582

地域の「コミュニティづくり」推進を

平成28年度コミュニティ助成事業(一般コミュニティ助成)で採択を受けられた2団体を紹介します。今後、地域活動の充実のため、左記の備品を活用されます。 ※コミュニティ助成事業は、住民が行う区・自治会活動の支援と宝くじの普及広報を目的に、宝くじの収益金の一部を財源として区・自治会等に助成されるものです。

■水口松尾台区 助成金額 220万円

背伸ばしベンチ1基、腹筋ベンチ1基、脇ストレッチベンチ1基、バランス円盤1基、ぶらぶらストレッチ1基、テレビ1台、エアコン1台

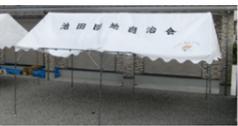
▶ エアコン



■池田団地自治会 助成金額 250万円

会議用テーブル10脚、会議用椅子17脚、ノートパソコン1台、屋外用テント2張、テレビ1台、テレビ台1台、保管庫(書類ロッカー)2台、クリーナー1台、ファンヒーター3台、冷蔵庫1台、物置2基、ビデオレコーダー1台、強力工場扇(扇風機)3基、複合機1台

▶ テント



地域コミュニティ推進係 ☎65-0690 / ☎63-4582